

ストロー
アートを
徹底調査!

気になる疑問を徹底ちょ〜査!

まかせて

[makasete cho-sa dan]

ちょ〜査団!!



インターネットで体験の様子を動画配信!
<http://www.vis-a-vis.co.jp/tjo/>

求む! ちょ〜査依頼!
E-MAIL makacho@vis-a-vis.co.jp

応募方法=とじこみハガキかEメールで調査依頼ネタを「まかせてちょ〜査団!!」宛にお送りください。ネタの選択はちょ〜査団の独断により決定しますのであしからず。

ちょ〜査!

File Number_#0231

ちょ〜査依頼

団員の皆さん、「ストローアート」って知っていますか? 一本のストローから動物や昆虫を作り出すものらしいのですが…。どこで教えてもらえるのでしょうか? (た子ママ/34才/女性/倉敷市) もと一緒に行ってみたいなあ。

ストローを切ったり、曲げたり、結んだり…。
完成したのは、得体の知れない謎の生物!

「ストローアートとは一体何なんだ〜!」と、今回はアート担当の団員・おはなが行ってきました! そして、「ストローの老舗が鶴方にあるんじゃないか。その調査、わしも行く」と名乗りをあげたのは、今回調査初参戦の団員・H(自称35歳、趣味は雪山スポーツ)。

二人で訪れたのは、鶴方のシバセ工業株式会社。どうやら、昭和44年から飲料用・工業用にストローを作り続けている、歴史あるストロー会社なのだそう。そもそもストローって、いつ何のためにできたの? そして、ストローアートって一体何? と疑問を抱えていたわたし。そんな疑問に答えてくれたのは、シバセ工業の白神七弓さんと、山部奈実さん。二人によると、人類史のストローの始まりはなんと紀元前4000、3000年前頃のようだそう。当時は、麦とパンを粉末にし、水を加えることでビールを作っていたそうなので、そのビールを飲む際に、沈殿物や浮遊物を一緒に飲みこまないようにするために蓋のストローを使っていたのだとか。そして、日本におけるストローの始まりは、麦わら帽子で有名な浅口市。最初のストローは実は麦わらからできていたそ

う。そして、時代の変化に伴い、麦わらのストローが紙ストローに変わり、ビニールストロー、ポリプロピレンのストローへと変わっていったのだそう。

そんな中、ストローを使って動物や昆虫を作り出すストローアートを始めたのは当銀美奈子さんという方。当銀さんの「もっとカラフルなストローが欲しい」という要望に合わせて、シバセ工業でクラフト用のストローを作るようになったそう。

ストローについて詳しくなってきたところで、「早速ストローアートをしてみようか」と山部さん。シバセ工業の社員さんは皆ストローアートができるそうなんです、中でもピカイチの技術を持つという山部さん。まずは、「簡単なエビから作ってみましょうか」と手取り足取り教えてくださいますか。一本のストローをタテに切ったりヨコに切ったり、曲げたり、結んだり…。ちよつとでも油断すると、変なところをザクッと切ってしまうそうなので、制作中は真剣そのもの。細やかな作業は好きなので、一応エビの形のをした作品が完成しました! そして、「来たからにはわした!」と団員・Hもストローアートに挑戦! 「汗が出るのう〜」、「セキツイがやられるのう〜」と、若干の文句を発しながらも恐竜(もどき)がなんとか完成! 皆さん、写真をよく見てください。同じように作ってもここまで違いが出るなんて(笑)。「恐竜はエビより難易度が高いんですよ」とすかさずフォローしてくる山部さん。優しいスタッフさんでよかったです(笑)。「今後ますますみな方の想像力と創造力で驚きの作品を生み出していきたい」と教えてくれました。3月9日出には、ストローアートの実演会が開催されますので、皆さんも足を運んでみてくださいね。

ストローアート作り実演会
3月9日(土)14:00~16:00

◎ブックランドあきは 大高店
倉敷市沖新町88-7
☎086-426-1828
※予約不要



シバセ工業株式会社
浅口市鶴方町六条院中3037
☎0865-44-2215
<http://www.shibase.co.jp>

お子さまでも簡単にできますよ!
「親子で作るストロー細工」の本とクラフト用のストローの販売もあるので、HPをのぞいてみてくださいね

山部奈実さん
白神七弓さん

